

## 旧豊田工場（現 豊田デポ）の土壌・地下水調査結果及び対策について

シロキ工業株式会社は、旧豊田工場(現 豊田デポ)敷地内の工場建屋の解体工事計画に伴い、土壌・地下水調査を行った結果、土壌において「土壌汚染対策法」(以下「法」という)に定められた基準を超える特定有害物質を検出しましたので、下記のとおりお知らせいたします。本日 12 月 17 日、当社は本調査結果を豊田市に報告いたしました。

汚染が判明した場所は、コンクリート・アスファルト舗装または不透水シートで覆われており、汚染土壌の飛散や流出の恐れはありません。

今後、汚染土壌を適正に処分してまいります。

### 記

#### 1. 調査概要

- ・調査対象地： シロキ工業株式会社旧豊田工場(現 豊田デポ) 敷地内  
愛知県豊田市緑ヶ丘 6 丁目 41 番 2、42 番 2、43 番、46 番 2、46 番 4
- ・調査対象面積： 25,216.99 平方メートル
- ・調査期間： 2021 年 1 月 25 日～2021 年 11 月 12 日

#### 2. 調査結果

##### (1) 土壌溶出量

次表のとおり法に規定する土壌溶出量基準を超過しました。

特定有害物質名	測定結果最大値	土壌溶出量基準	基準超過土壌検出 深度	超過区画数/ 調査区画数(注)
六価クロム化合物	0.82 mg/L	0.05 mg/L	0～0.6m	4/210
シアン化合物	3.2 mg/L	検出されないこと	0～4.0m	13/210

注：調査対象地を 10 メートル格子で分割した区画数。

##### (2) 土壌含有量

全ての調査地点で法に規定する土壌含有量基準に適合していました。

##### (3) 地下水

土壌溶出量基準超過区画の地下水流向下流域にて地下水調査を実施し、地下水から特定有害物質は検出されませんでした。

#### 3. 土壌汚染の原因および現在の状況

旧豊田工場の一部エリアで電気メッキ施設があり、シアン及び六価クロムを含有するメッキ液を 2009 年まで使用しておりました。その際に、何等かの原因で土壌へ浸透してしまったと推測しております。なお、汚染が判明した場所はコンクリート・アスファルト舗装または不透水シートで覆われており、汚染土壌の飛散や雨水などによる汚染拡散の恐れはありません。

4. 土壌汚染確認後の対応

2022年1月以降に建屋の解体工事に合わせ、専門業者により汚染土壌の飛散・流出防止対策を適切に実施し、汚染土壌は全て掘削除去します。

5. 本件に関するお問い合わせ先

シロキ工業株式会社 総務部

愛知県豊川市千両町下野市場 35 番 1

電話 0533-93-1232

以上